

令和5年度



長崎県学力調査

小学校第5学年 国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから14ページまであります。
- 3 答えは、すべてかい答用紙に書きましょう。
- 4 印刷がはつきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 5 かい答時間は、四十分間です。かい答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 かい答用紙には、「組」、「番号」、「名前」を書く場所があります。まちがいのないように書きましょう。
- 7 かい答用紙の「補助票」には何も記入しないでください。

石田さんの学級では、日本にきたばかりのスミス先生（外国語の先生）に、自分たちの学校についてようかいすることにした。石田さんのグループは、給食についてしようかいするため、アドバイスをしながらスピーチの練習をしています。次は、【スピーチ】と【グループの話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチ】

【はじめ】

中野

わたしたちのグループは、給食についてようかいします。理由は、先週の給食の時間に、スミス先生が、「日本の給食はおいしいですね。」と、おっしゃっていたからです。そこで、わたしたちの学校の給食のよさと、人気のこんだてについて調べました。

山下

まず、給食のよさについて二つしようかいします。
一つ目は、栄養のバランスがとれていることです。給食は、わたしたちが栄養をしっかりと取ることができるように考えて作られています。だから、わたしたちは、毎日元気にすごすことができます。

石田

二つ目は、地元の野菜が使われていることです。作った人が分かるので、安心して食べることができます。

相川

次に、人気のこんだてについてようかいします。学級でアンケートを取って調べました。第一位は、カレーです。第二位は、焼きそばです。どちらも、おかわりしたくなるくらいおいしいです。その他にも、手まきずしやハンバーガーが人気があります。

三原

青葉小学校の給食は、栄養のバランスがとれていて、安心安全です。これからも、毎日みんなでしっかり食べていきたいです。スミス先生にとって初めて食べるものもあると思いますが、いっしょに楽しく食べましょう。そして、先生のおすすめの給食も教えてください。

【終わり】



【グループの話し合いの様子】

石田 完成に近づいてきたね。

山下 もっとよくできるところがありそうだね。まず、スピーチの内容から考えてみようか。

中野 給食のよさの二つ目に、具体的な例をあげると、もっと分かりやすくなると思うよ。

石田 そうだね。スミス先生と食べた給食のカレーには、地元の農家の人が作った野菜が入っていたよね。

相川 じゃがいもがそうだったよね。

中野 このことを例にあげて話したら、スミス先生も理解しやすいと思う。つけ加えよう。

三原 他に、くふうするとよいところはないかな。

相川 話し方についてはどうだったかな。

三原 全体的に、話すスピードが速いように感じたよ。そこを直したいな。

山下 わたしもそう思うよ。日本に来たばかりのスミス先生にとっては、速いような気がする。

石田 そうだったかな。さつきさつえいしたスピーチ練習の動画を見てみようか。

（動画を見る）

相川 日本語を勉強しているスミス先生にとっては、早口かもしれないね。

三原 分かりにくい言葉があるかもしれないから、間を取りながらゆっくり話すようにしよう。

中野 それから、スミス先生の様子を見ながら話すことも大事だね。内容が伝わっているかどうかたしかめながら話すようにしよう。

（話し合いが続く）

一 石田さんたちは、【スピーチ】の練習をしています。ないよう内容を分かりやすく伝えるために、どのような組み立てで話していますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

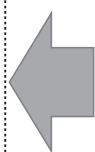
- 1 給食のよさについて、「はじめ」で二つ目を、「中」で二つ目を話している。
- 2 スミス先生にお願いしたいことについて、「はじめ」と「終わり」で話している。
- 3 給食についてしうかいすることにした理由について、「はじめ」で話している。
- 4 アンケートを取って調べた人気のこんだてについて、「終わり」で話している。

二 石田さんたちは、【スピーチ】の について、より分かりやすくなるように、例をあげて話すことにしました。あなたが石田さんなら、どのように話しますか。

ア

ないように入る内容を、あとのへじょうけんへ合わせて書きましよう。

二つ目は、地元の野菜が使われていることです。作った人が分かるので、安心して食べることができます。



二つ目は、地元の野菜が使われていることです。例えば、ア。作った人が分かるので、安心して食べることができます。

へじょうけん

- 給食に地元の野菜が使われていることが分かる例をあげて書くこと。
- 【グループの話し合いの様子】から言葉や文を取り上げて、スピーチにふさわしい言葉づかいで書くこと。
- 三十字以上、五十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※ 左は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。かい答は、かい答用紙に書きましょう。

※ ◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

[illegible]

三 石田さんたちは、【グループの話し合いの様子】の

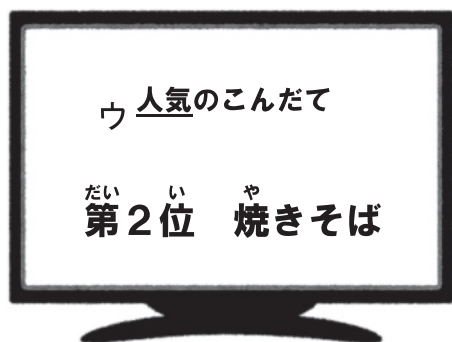
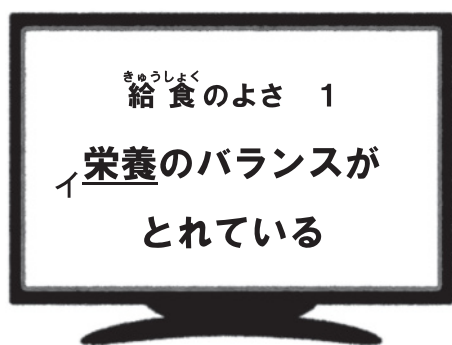
「石田さんたちは、『グループの話し合いの様子』の において、どのような目的で動画を見ていますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 調べて分かったことをいくつ伝えているか、たしかめるため。
- 2 話すじゅんじょが分かりやすくなっているか、たしかめるため。
- 3 決められた時間内におさまっているか、たしかめるため。
- 4 聞き手に合わせた話し方になっているか、たしかめるため。

四 石田さんたちは、スミス先生に分かりやすいスピーチにするために、

画面にうつつ資料に使っている漢字に読みがなを書くことにしました。

部イ、ウの漢字の読みがなをひらがなで書きましょう。



川田さんの学級では、ふしぎな出来事がえがかれている物語を読み、友達としようかいし合うことにしました。川田さんは、「もうすぐ雨に」という物語を選んで読み、気になるところにふせんをはっています。次は、【物語のこれまでのあらすじ】と【物語の一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【物語のこれまでのあらすじ】

登校前、あみ戸とまどガラスの間にはさまっているかえるを見つけた。ぼくは、助けようと、まどとあみ戸を動かしてみた。しかし、かえるは動かず、ぼくをじっと見つめるばかりだった。「ありがとうって言いたいのかな――」。動物の言葉が、分かればいいのになあ。」と言うと、かえるがまばたきして、どこかでチリンとすすみたい音がした。どこにもすすずなんかない。ふと見ると、かえるもいなくなっていた。かえるもすすずも、さがしているひまなんかない。ぼくは、学校に向かうために、急いでかいだんをかけ下りた。

【物語の一部】

（朽木 祥 「もうすぐ雨に」による）

（朽木
祥

「もうすぐ雨に」による）

（朽木 祥 「もうすぐ雨に」による）

一 川田さんは、文の意味をもう一度たしかめるために、――部アとエの文を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 次のアの文について、……………部「止まっていた」の主語としてふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア 電線の上には、大きなからすが止まっていた。

- 1 電線の
- 2 上には
- 3 大きな
- 4 からすが

(2) 次のエの文について、……………部「大きな」はどの言葉をくわしくしていますか。ふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

エ だけど、みんなでまどからのぞいてみたら、大きな黒い雲がむくむくわいていた。

- 1 黒い
- 2 雲が
- 3 むくむく
- 4 わいていた

二 川田さんは、ふせんをはったところをもう一度読んでいます。次の(1)と(2)の問いに答えましよう。

(1) 川田さんは、……………部イに表れている「ぼく」の気持ちについて考えています。その説明としてふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 動物の声が聞こえることにおどろいて、とまどっている。
- 2 動物の声が聞こえるのは自分一人だと思い、がっかりしている。
- 3 動物の声が聞こえてにぎやかな様子が思いうかび、よろこんでいる。
- 4 動物の声が聞こえることがたしかめられて、こうふんしている。



(2) 川田さんは、――部ウについて、「ぼく」がこまった理由を考えています。その説明としてふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 雨がふると、昼休みに運動場で遊べないと思ったから。
- 2 教室でみんなから注目されて、うれしくなったから。
- 3 動物から聞いたと言っても、信じてもらえないと思ったから。
- 4 もうすぐ雨がふるのに、かさを持ってきていなかったから。

三 川田さんは、「もうすぐ雨に」を読み、しょうかいする文章を書いています。次の【川田さんの文章】のA ないようの中に入る内容として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【川田さんの文章】

わたしは、「もうすぐ雨に」という物語をしょうかします。

この物語では、チリンという音が鳴ると、動物の声が聞こえるというふしぎな出来事が数回起こります。

最初は、「動物の言葉が、分かればいいのになあ。」と言っていた「ぼく」が、ふしぎな出来事を通して、最後には、

A

最後まで読むと、雨がやんだ後に広がる青空を見たときのようにさわやかな気持ちになります。ぜひ読んでみてください。

- 1 動物の声が聞こえなくても、いつ雨がふり出すかが分かるようになります。
- 2 動物の声が聞こえなくても、動物の思いをよく考えることができますようになります。
- 3 動物の目をじっと見るだけで、チリンというずずのような音が聞こえるようになります。
- 4 動物の目をじっと見るだけで、動物の声を聞くことができますようになります。

本村さんたちは、四月に行われた「ぼうさい集団下校」の様子を新聞にまとめて、学級の友達に伝えることにしました。次は、本村さんたちが書いた【ぼうさい新聞】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ぼうさい新聞】

ぼうさい新聞

4月25日
本村 かいと
森 さくら
山田 みさき

四月十四日に、大雨にそなえた「ぼうさい集団下校」が行われました。地いきごとに分かれて、通学路のきけんな場所などをかくにんしながら下校しました。

六年生の松山さんは、「青葉小学校の近くの川は、雨がたくさんふると、水の量がふえます。このようなときは、とてもきけんなので、川には近づかないようにしたいです。」と、話していました。

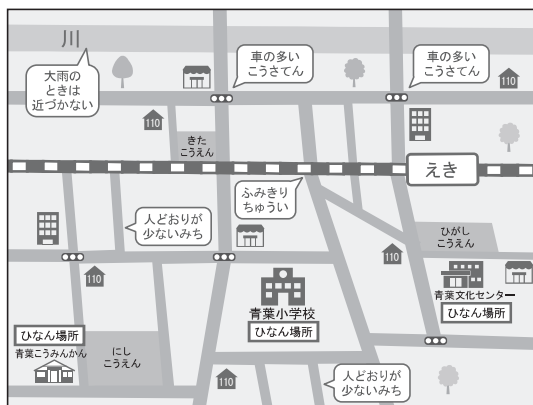
校長先生は、「自分たちの地いき全体のできけんな場所を知っておくことが大切です。」と、おっしゃっていました。

これからも、自分の命を守るためにできることを考えていきたいと思います。

(本村)

ぼうさいマップ

「青葉小ぼうさいマップ」を知っていますか。これは、きけんな場所やひなん場所などを地図にまとめたものです。自然さい害がはつせいたときにそなえて、かくにんをしておきましょう。(本村・森)



青葉小ぼうさいマップ

用意をしておこう

家でさい害にそなえて用意している物について、学級みんなにアンケートを取りました。

(1人2つまで答えてもらいました。)

かい中電灯	30人
いんりょう水	15人
ひじょう食	12人
ラジオ	10人



このような物を用意しておくと、すぐにひなんできますね。(森・山田)

〈感想〉

日ごろから、さい害にそなえてじゅんぴをしておくことがひつようだと思いました。わたしも、家族といっしょに、ぼうさいマップをかくにんしたり、ひなんするときに持つて行くものを用意したりしました。

ウ

です。

これからも、大切な命は自分で守っていきます。(山田)

一 本村さんたちは、次のような【わりつけ】にして、【ぼうさい新聞】を作りました。A・B・Cにはそれぞれのようない内容が書かれていますか。その組み合わせとして最もふさわしいものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【わりつけ】

大見出し		新聞名
A		
B		
感想	C	

- | | | | | | | |
|---|---|-------------------------------|---|-------------------------------|---|-------------------------------|
| 1 | A | 出来事の様子 | B | 資料 <small>しりょう</small> のしようかい | C | アンケート結果 |
| 2 | A | アンケート結果 | B | 出来事の様子 | C | 資料 <small>しりょう</small> のしようかい |
| 3 | A | 出来事の様子 | B | アンケート結果 | C | 資料 <small>しりょう</small> のしようかい |
| 4 | A | 資料 <small>しりょう</small> のしようかい | B | 出来事の様子 | C | アンケート結果 |

二 山田さんは、【ぼうさい新聞】の〈感想〉の部分を書いているときに、これまで書きためていたことわざカードの一つが思い浮かび、そのことわざを使いました。

ウ に入ることわざについて書かれたカードとして最もふさわしいものを、次の①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

① ちりも積もれば山となる

(意味) わずかなものでも、積もり重なると大きなものになること。

② 急がば回れ

(意味) 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。

③ かつぱの川流れ

(意味) どんなに上手な人でも、失敗することがあること。

④ そなえあればうれいなし

(意味) ふだんから十分にじゆんぴをしておけば、いざというときに何の心配もいらぬこと。

三 森さんは、【ぼうさい新聞】を読み返しているときに、学習した漢字を使わずに、ひらがなで書いていることに気づきました。

部ア、イのひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

自然さい害がは^アつせいしたときにそなえて、かくにんをしておきましよう。

日ごろから、さい害にそなえてじゆんぴをしておくことがひ^イつようだと思います。

四 本村さんは、校長先生の話の内容が、読み手により伝わるようにするために、【ぼうさい新聞】の の部分をくわしく書き直そうとしています。次は、〈本村さんの心の中の声〉と【本村さんのメモ】です。あとのへじょうけん〉に合わせて書きましょう。

【ぼうさい新聞】の の部分

校長先生は、「自分たちの地いき全体のきけんな場所を知っておくことが大切です。」と、おっしゃっていました。

〈本村さんの心の中の声〉

このままだと、なぜ地いき全体のきけんな場所を知っておくことが大切なのか伝わらないな。
校長先生の話を聞いたときのメモを見直して、理由をつけ加えてくわしく書こう。

【本村さんのメモ】

校長先生の話

- ・ 自分たちの地いき全体のきけんな場所を知っておくことが大切
- ・ さい害は、いつ、どこで起こるか分からないから
- ・ 「青葉小ぼうさいマップ」には、地いきのきけんな場所などがしうかいされている
- ・ 自分の命を守るために役立ててほしい



校長先生



本村さん

校長先生が、
部「自分たちの地いき全体のきけんな場所を知っておくことが大切」だと考える理由をつけ加えて

○【本村さんのメモ】から言葉や文を取り上げて書くこと。

※ 左は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。かい答は、かい答用紙に書きましょう。

※ ◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

と、おっしゃっていました。

これで、**国語の問題**は終わります。